



凡 例		
浸水継続時間		
	～24時間 (1日間)	
	～12時間	
	河川区域	
	浸水想定区間	
	市境界線	
	市役所	
	支所	

浸水継続時間(朝熊川)について

1. 説明文
 - (1) この図は、宮川水系朝熊川について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
 - (2) この浸水継続時間は、指定時点の朝熊川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により朝熊川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
2. 基本事項等

(1) 作成主体	: 三重県
(2) 指定年月日	: 令和4年7月26日
(3) 告示番号	: 三重県告示第459号
(4) 指定の根拠法令	: 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
(5) 対象となる河川	: 宮川水系朝熊川
検討対象区間	左岸: 伊勢市朝熊町字楠原の県道橋(楠原橋)から五十鈴川への合流点まで 右岸: 伊勢市朝熊町字楠原の県道橋(楠原橋)から五十鈴川への合流点まで
(6) 指定の前提となる降雨	: 雨沢川流域の24時間の総雨量1,089mm
(7) 関係市町村	: 伊勢市
- (8) その他計算条件等
 - ① この図は、朝熊川の三重県管理区間において破堤等が起きた場合の浸水継続時間を図示しています。
 - ② この図は、朝熊川において、一定の条件で破堤等をさせたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。破堤地点は、三重県管理区間の0.0kmから2.8km地点において想定したものです。
 - ③ 氾濫計算は、対象区域をおよそ25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。